

札幌市地域公共交通計画に関する 取組について

2025年（令和7年）3月6日

札幌市地域公共交通計画について

- ・協議会での議論を踏まえ、2024年11月に策定

札幌市の公共交通の課題

課題①

需要に応じた移動手段の確保

課題②

運転手不足への対応

課題③

収入の確保

課題④

利用者の利便性向上

目指すべき将来像

市民・事業者・行政の協働でつくる、
まちと暮らしを支える持続可能な公共交通ネットワーク

基本方針

① まちと暮らしを支える公共交通ネットワークの構築

多様化する需要や運転手不足に対応し、公共交通サービスを確保していくため、地域の実情を踏まえ、各公共交通機関が連携し、バス路線再編や代替交通の導入等も行いながら、まちと暮らしを支える公共交通ネットワークの構築を進めます。

② 持続可能で安定した運営体制の確立

公共交通を将来にわたって持続可能なものとするため、市民・事業者・行政のそれぞれが収入確保や運転手不足への対応に向けて必要な役割を分担し、安定した運営体制の確立を目指します。

③ 利用環境の向上等による利用促進

公共交通の維持や環境への配慮の観点から、車両・施設・サービス等の利便性を向上するとともに、公共交通の利用に関する意識醸成を図ることで、利用を促進します。

札幌市地域公共交通計画について

基本方針	施策	取組内容
【基本方針1】 まちと暮らしを支える公共交通ネットワークの構築	1-1 生活交通の確保に向けた公共交通ネットワークの再編	1) 面的なネットワークの維持 2) バス路線再編による運行効率化 3) 地域特性に応じた代替交通の導入 4) 地域と取り組む移動手段の確保 5) 小型車両・デマンド交通等への転換 6) 連節バスの導入検討 7) バスーバス乗継割引の導入検討
	1-2 交通結節点等を介した交通モード間の連携	8) 交通結節点等の機能強化
【基本方針2】 持続可能で安定した運営体制の確立	2-1 持続可能な事業運営に向けた取組	9) 持続可能な運営に向けた収支改善 10) 運転手確保に向けた取組 11) 事業者間での協働による取組の検討
	2-2 新技術等の活用の検討	12) 新たな決済手段の活用検討 13) 新たな公共交通システムの導入検討 14) 自動運転に関する検討
【基本方針3】 利用環境の向上等による利用促進	3-1 わかりやすい運行情報の提供	15) 運行情報発信体制の充実
	3-2 待合環境・走行環境等の向上	16) 待合環境の向上 17) バスターミナル機能の維持
	3-3 バリアフリー化や脱炭素化の推進	18) 路面電車の活用及び機能向上 19) バリアフリー化された車両の導入
		20) 旅客施設のバリアフリー化
	3-4 公共交通の利用促進に向けた取組の推進	21) 脱炭素につながる次世代自動車の導入検討 22) 小学生への公共交通に関する学習の実施 23) 企画券等による需要喚起

札幌市地域公共交通計画について

持続可能な公共交通ネットワーク構築に向けた体系の在り方

面的なネットワークの維持

施策1-1 取組1)

- 各交通機関の役割分担を再確認した上で、札幌市における面的な公共交通ネットワークを維持します。
- 特にバス路線に対し、基準に則り、必要に応じた経費補助を行いながら路線の維持に努めます。

■面的な公共交通ネットワーク



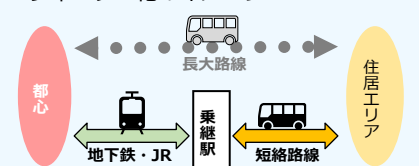
バス路線再編による運行の効率化

施策1-1 取組2)

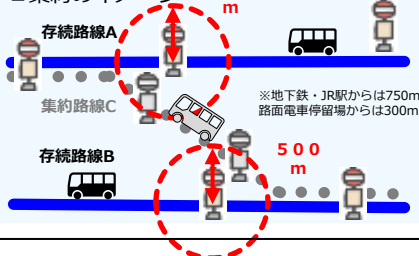
バス運転手不足に対応するため

- 運行経路や需要の大きさに配慮しながら、都心へ向かう便を地下鉄・JR駅止まりにするフィーダー化や、一定の基準による路線集約等を図ります。
- 利便性や、需要と供給を考慮したダイヤ・便数の検討や、わかりやすいダイヤの設定に努めます。

■フィーダー化のイメージ



■集約のイメージ



地域特性に応じた代替交通の導入

施策1-1 取組3)

やむを得ない路線廃止により基準に沿った面的ネットワークが維持できなくなる場合

札幌市が主体となり、生活の足を確保できるように地域特性に応じた代替交通の導入を検討します。

■導入事例：チョイソコていね実証実験



■地域特性に応じた導入イメージ

地域特性	「細長く」形成	「面的に」形成
大 (通勤、通学等)	定時定路線運行 (バス)	
中	定時定路線運行 (ジャンボタクシー)	デマンド交通 (ジャンボタクシー)
小	定時定路線運行 (セダン型タクシー)	
僅少	路線不定期運行 (セダン型タクシー)	

地域と取り組む移動手段の確保

施策1-1 取組4)

既存の公共交通では対応が困難な地域内の移動ニーズがある場合

地域住民が中心となり、新たに交通手段を導入する取組(地域交通)に対し、行政や運行事業者がサポートする三者協働の仕組みを構築します。

※ 小型車両を使用して、不特定の方が乗り合って有償で運行するものを基本とする

■三者協働による導入イメージ

地域のみなさま (地域組織)



- ・地域の課題把握
- ・運行計画の作成
- ・利用促進活動 など

地域のみなさまと三者協働でつくる地域交通

札幌市



- ・導入検討をサポート (技術的支援)
- ・運行をサポート (財政的支援)

交通事業者



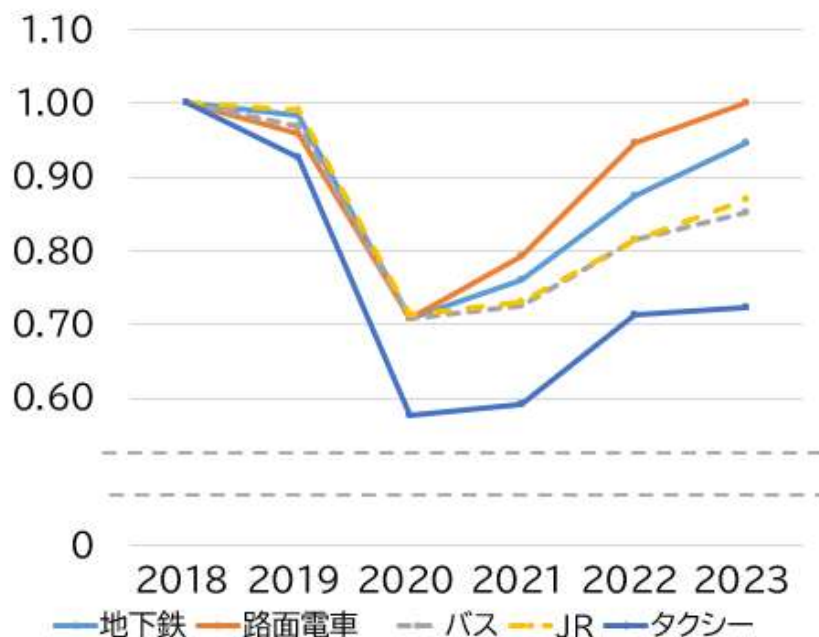
- ・運行計画への助言
- ・安全な運行

市内公共交通機関に関する状況について

- ・ 輸送人員のコロナ禍前への回復傾向にはバラつき
- ・ 市内路線バスは大規模な減便・廃止が実施されており深刻な状況が継続

各公共交通機関の輸送人員

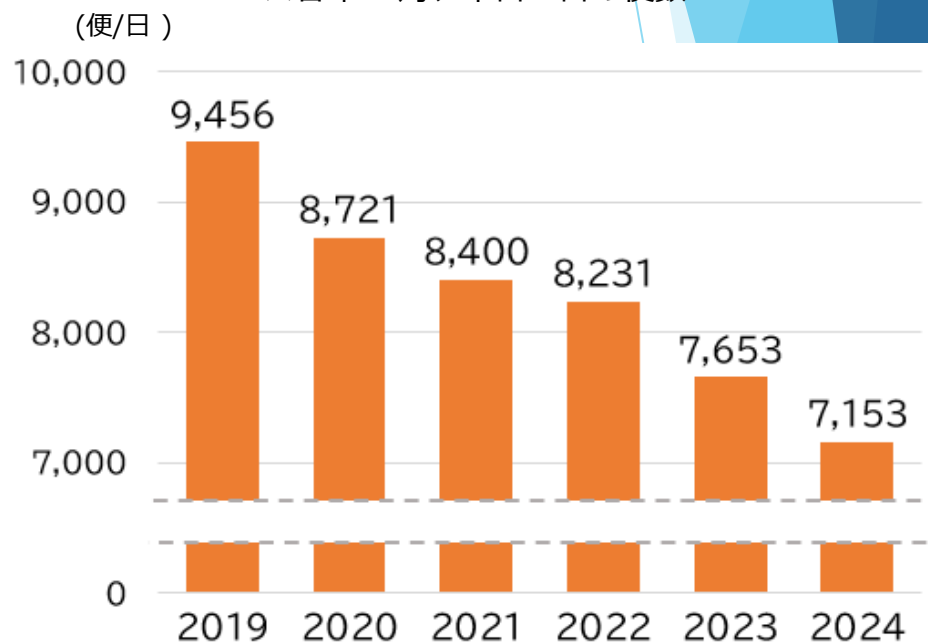
※2018(H30)年を1とした時の値



※出典：札幌の都市交通データブック
(各事業者・団体提供データによる)

札幌市内 路線バス便数の推移

※各年12月、平日1日の便数



※出典：札幌の都市交通データブック

札幌市令和7年度予算案について

- ・「生活交通確保対策パッケージ」として、路線バスに関係する施策を4つの柱で総合的に推進

●面的な公共交通ネットワークの維持

施策1 バス事業者の経営基盤の下支え

路線維持補助の見直し、南区デマンド運行の支援

施策2 設備更新への支援

ICカード車載器更新補助、ノンステップバス導入補助

施策3 路線廃止に伴う代替交通の導入

手稲区デマンド交通、南区、北区/東区 代替交通導入

●市民・企業・行政の協働関係の構築

施策8 地域と連携した交通手段の導入

地域が主体となった交通手段の導入への支援

施策9 公共交通の利用促進等に関する啓発活動

モビリティ・マネジメント教育の実施

市民向けワークショップや民間事業者との連携実施

施策10 関係者との議論・連携の推進

札幌市公共交通協議会を通じた公共交通ネットワークや地域公共交通計画に関する議論

●路線バス運転手確保に向けた仕組みづくり

施策4 運転手の待遇改善等への支援

運転手人件費アップに対する支援

運転手の労働環境改善に資する設備投資への補助

施策5 運転手の新規採用に関する補助制度

大型二種免許取得、就労一時金、移住支援への補助

施策6 バス事業者の採用活動への支援

市とバス事業者が連携した業界PRや採用活動の実施

施策7 外国人材の受入れの支援

外国人材の受入れに関する支援制度の新設等

●新たな技術や知見の積極的な活用

施策11 持続可能な公共交通ネットワークに関する検討

将来的な行政や事業者との協働による取組、連節車両の活用等の検討

令和7年度予算案として、議会に提出中

面的ネットワーク維持に向けた取組

基本方針 1 施策1-1関連

● : 実施中

● : 2025.4から開始予定

手稲区デマンド交通
2022.11～実証運行
2025.4～本格運行予定

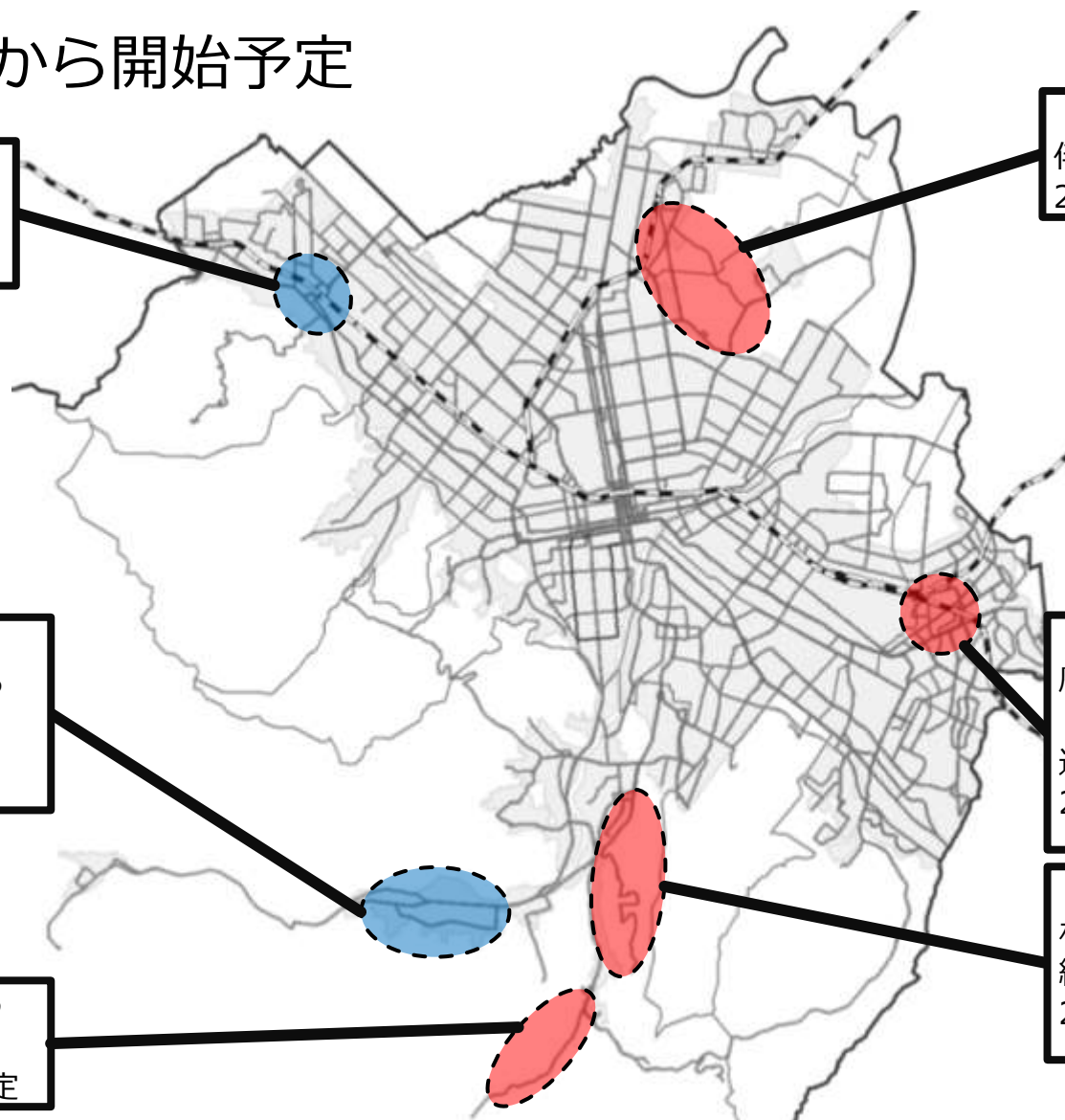
「栄町篠路線」廃止に伴う代替交通
2025.4～実証運行予定

南区デマンド交通
(株)じょうてつによる
大型バスからの転換)
2023.9～実証運行

「厚別ふれあい循環線」
廃止に伴う「地域交通」
(地域が主体となった交通) の導入
2025.4～実証運行予定

「空沼線」廃止に伴う
代替交通
2025.4～実証運行予定

「駒岡線」
札幌ばんけい(株)による
継承運行
2025.4～運行予定



- ・ 代替交通等の導入にあたっては、地域住民との協議も踏まえた上で、地域特性や需要に応じた交通手段を導入
- ・ 運行開始後も、利用状況等を踏まえ運行内容を見直し

項目	運行概要	車両
手稲区 デマンド	区域運行 予約制	ジャンボタクシー
南区 デマンド (じょうてつ運行)	区域運行 予約制	ジャンボタクシー
栄町篠路線 代替交通	決まった経路を運行 一部予約制	ジャンボタクシー
駒岡線 継承運行 (札幌ばんけい運行)	定時定路線	大型バス
空沼線 代替交通	決まった経路を運行 主に予約制	ジャンボタクシー / セダン型タクシー
厚別 地域交通	定時定路線	大型バス

- ・ 2024年秋、創成東地区を中心に連節車両のテスト走行を実施（道外のバス事業者から、車両借り受けと運転手派遣）
- ・ 次年度は市内路線バス事業者と連携し、活用に向け検討



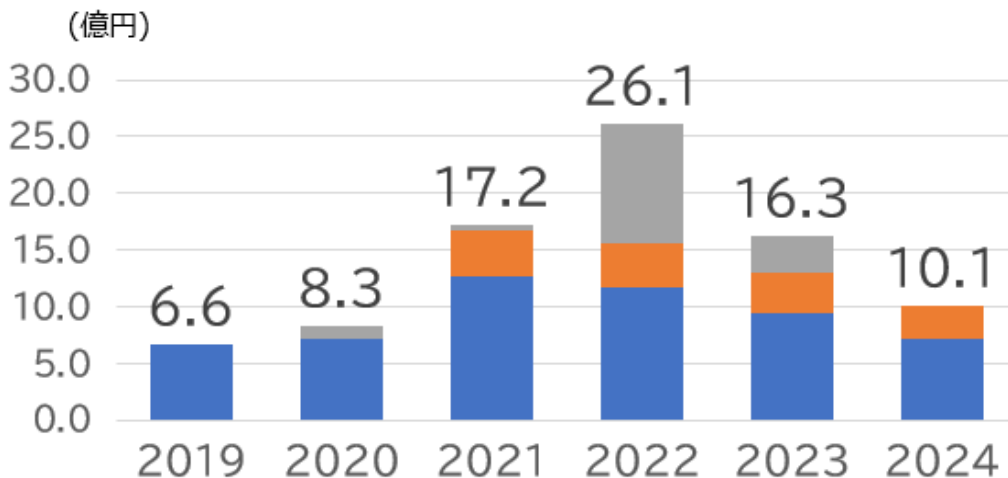
バス路線維持補助制度の見直し

基本方針 2 施策2-1関連

- ・バス路線維持補助金は、コロナ禍以降の乗客数の回復等に伴い、2023年度以降は減少傾向
- ・バス運転手不足を踏まえ、バス事業者の下支えとなるよう次年度に制度見直し

札幌市乗合バス路線維持補助金 金額の推移

※前年度運行分に対する補助

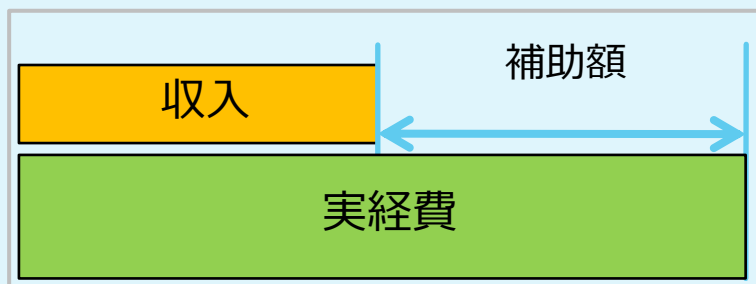


	2018	2019	2020	2021	2022	2023
乗客数(一日)	28.8万人	27.9万人	20.4万人	20.9万人	23.5万人	24.5万人
対2018比	-	△3.1%	△29.2%	△27.4%	△18.4%	△14.9%

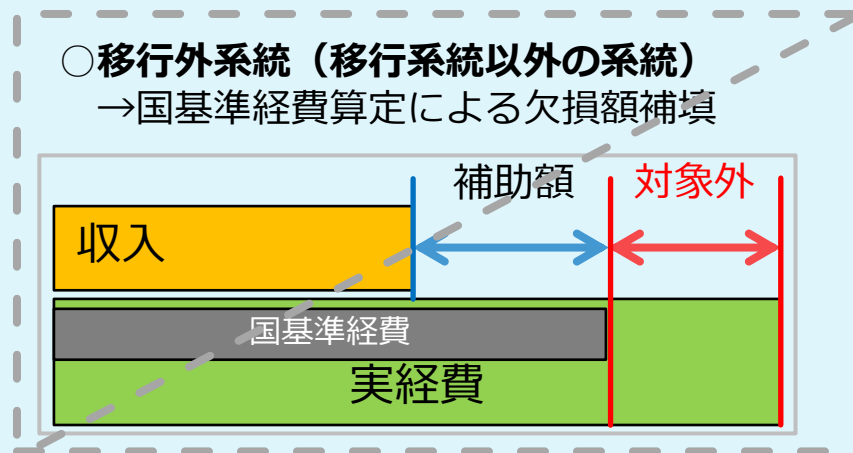
- ・ 移行路線・移行外路線による制度差の解消のほか、補助対象路線の拡大、人件費アップに対する上乗せ 補助など大幅拡充

■ 現在の補助制度の算定方法 ⇒ 移行系統の算定方法に統一

○ 移行系統（旧市営バス移行系統）
→ 実経費による欠損全額補填



○ 移行外系統（移行系統以外の系統）
→ 国基準経費算定による欠損額補填



■ 補助対象系統の要件拡大

- ・ 路線運行回数3回未満
- ・ 系統輸送量150人超
- ・ 路線輸送量15人未満 他

■ 人件費アップに対する上乗せ補助

- ・ 補助制度の算定結果において、人件費単価がアップした場合に走行実績に応じて補助額を上乗せ

- 各バス事業者における積極的な取組に加え、市が主体となり各社と連携し、様々な層へ「路線バス運転手の魅力」をPR

【冊子】



詳しくは
札幌市HPから



- 【特設WEBサイト】



- ・ 路線バス事業者の運転手確保に向けた取組を新たに支援

支援を予定している項目

- 大型二種免許取得
- 就労一時金
- 採用者の道外からの移住に伴う費用
- 外国人材の受入れ

● 路線バス運転手における外国人材の受入れ状況（報道による情報）

- ・ 岡山市の企業グループにおいて、2025年度中にデビュー見込み
- ・ 東京の企業において、2024年に外国人運転手として14人の内定

- ・都市間バス等でクレジットカードタッチ決済導入の動き
- ・市営地下鉄においても、2025年春から全駅にタッチ決済端末を導入し、乗車サービスの実証実験を予定



【自動改札機のイメージ】

出典：2024年6月5日 報道発表資料

- ・ 都心部における移動の利便性・回遊性を高め、まちの賑わいを創出するとともに、脱炭素社会の実現に資する取り組みを検討
- ・ 2025年度から実証実験を予定



【新たな公共交通のイメージ】

- ・ ノンステップバス、ユニバーサルデザインタクシー導入に
国、札幌市がそれぞれ補助金を交付
- ・ 次年度は札幌市の補助台数を拡充し、導入促進を図る

■ ノンステップバス

- ・ 購入にあたり1台当たり最大210万円
（国：140万円、札幌市：70万円）を補助
- ・ 市補助台数は10台⇒新年度**50台**を予定



提供：北海道中央バス(株)

■ ユニバーサルデザインタクシー

- ・ 購入にあたり1台当たり最大90万円
（国：60万円、札幌市：30万円）を補助
- ・ 市補助台数は100台⇒新年度**140台**を予定



提供：（一社）札幌ハイヤー協会

- ・ 路面電車においては、これまで低床車両を順次導入（3連節タイプ：4両、単車タイプ：10両）
- ・ 次年度は新たに1台導入予定



- ・ 小学校への学習資料、教師向け指導書の配布及び研究授業を実施し、次年度も小学生の学習機会を促進

■ 5年生向け学習資料

03

情報を生かした取組 ②

～バスロケでいつバスが来るかが分かる～

札幌市内でバスロケーションシステムを
使えるようになって、どんなよさがあったかな。

バスを利用する人からは、「バスがいつ来るのか分からない」、「バスがすてに行ってしまったのが心配になる」といった声が上がっていました。

そこで市内のバス会社は、バスが今どこにいるのかが分かるバスロケーションシステム(バスロケ)を導入しました。バスを利用する人は、アプリやホームページのバスロケでバスの位置や遅れなどの情報をえられるようになりました。この情報は、さっぽろまちバスナビでも見ることが出来ます。また、多くの人が集まるバスステーションなどには、デジタルサイネージを導入してバスの待ち時間を分かりやすくし、利用者の不安を減らす取組を行いました。

「バスロケでバスが来るの分かる」
電子看板のことで、乗客の待ち時間や遅れなどの情報を分かりやすく表示する取組が行われています。

バスロケアプリの画面。バス番号、目的地、到着時刻などが表示されています。

バスステーションのデジタルサイネージ。バスロケの情報をリアルタイムで表示しています。

デジタルサイネージを導入して遅延の情報を知らせる。

★バスロケを使ってみよう。
★バスロケで分かることをメモにまとめてみよう。
★バスロケが使えるようになってどんなよさがあったか考えよう。

このように、バスが今どこにいるのか、何分後に到着するのかが分かること、大雪の時の遅延は待たず時間短縮になります。

さらに、バス会社によって普段のバスの運行の様子が正確に分かるので、時刻表を見直すときに役立ちます。

みんなで作成しよう！
バスロケを
使ってみよう！

バスロケの
位置の遅れに
気づくことが
出来る。

バスロケの
位置の遅れに
気づくことが
出来る。

バスロケの
位置の遅れに
気づくことが
出来る。

バスロケの
位置の遅れに
気づくことが
出来る。

★調べて分かったこと

- バスロケの位置が分かる。
- バスロケの遅れの様子が分かる。
- 色でバスの遅れが分かる。
- 0～5分遅れ
- 6～9分遅れ
- 10分以上遅れ
- 乗客がバスに乗る前にバス

乗客がバスに乗る前にバス

■ 3年生向け学習資料



みんなの乗り場 **公共交通**
電車 バス 有軌電車

ろう



「どうして公共交通って便利なの？」

2

さつ ぽう し こり きんり こり つう

札幌市の公共交通






わたしたちがくらす札幌市は、約197万人が住む大きな都市です。そのような札幌市で、子どもからお年寄りまで、たくさんの方が移動するのに便利な乗り物が公共交通です。地下鉄、バス、路面電車、鉄道の4種類の公共交通がある都市は、札幌市のほかには、東京都・京都市・大阪市の3都市しかありません。札幌市は、日本の中でも公共交通の種類が多いまちとすることができず。

みなさんは、公共交通とわたしたちのくらしの関係を考えてみたことがありますか。この学習資料を使って考えていきましょう。

公共交通とわたしたちのくらしの関係を考えてみよう。